

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	人間コミュニケーション学基礎セミナー		
英文授業科目名	Introductory Seminar for Human Communications		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	H全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
fukasawa@hc.uec.ac.jp	http://www.hc.uec.ac.jp/ http://www.lib.uec.ac.jp/ http://www.cc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>人間コミュニケーション学科とはどのような学科なのか、そこではどのような教育や研究が行われているか、どのような教育環境があり、スタッフが存在しているのか等を入学当初の学生に示し、これからの学習の進め方に対して動機付けを与えることが本科目の主題である。また、大学で学ぶということについての理解を深めることも意図している。</p> <p>達成目標として、次の三点を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学習を進める上で必要不可欠な基本的スキルとマナーを身につける。 2) 学科の研究・教育を構成する3本の柱について輪郭をつかむ。 3) ディスカッションを含めた演習形式の授業で、コミュニケーション力を養成する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

第1回目 オリエンテーション

第2～4回目 設備など諸案内と大学での学習の進め方（ネットワークポリシー、英語・日本語について、資料収集・プレゼンテーション方法、レポートの書き方）

第5～7回目 3講座それぞれの概要についての講義

第8～15回目 演習形式を含むコミュニケーションに関する講義

予習として、大学、学科、図書館、情報基盤センターの各HPの閲覧、学修要覧の熟読をすること。
復習として、受講者間で講義内容に関する意見交換をし、理解を深めること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席（毎回出欠の確認をする）とレポートにより評価する。

全体の2/3以上の出席とレポートの提出が単位取得条件となる。

次の3点をレポートによって示すことができれば最低到達基準を満たしているとみなす。

- 1) 学習を進める上で必要不可欠な基本的スキルとマナーを理解している。
- 2) 学科の研究・教育を構成する3本の柱について認識している。
- 3) 自身が理解できたことを論理的・説得的に述べることができる。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

学科の全教員が参加するので、各教員の名前、顔、専門分野を早く覚えること。その意味でも、全出席を強く期待する。

【その他】

なし